

測量成果（地図）品質向上講習会 開催報告

公益財団法人日本測量調査技術協会（以下、測技協）は、数値地形図データ作成、航空レーザ測量、写真地図作成等の測量成果の品質向上にあたり、測量成果（地図）品質向上講習会を平成29年度に引き続き開催いたしました。

本講習会は、基本測量及び公共測量における地図作成上の基本的な誤りの発見や処理方法が理解できるとともに、測量成果に対する品質管理を実践できる技術者の養成を図ることを目的としています。

測技協は、平成22年度より地図作成に関係する測量成果の検定を実施してまいりましたが、各測量作業機関に共通した誤表示、脱落等の点検不十分な事例が未だ多く見受けられます。本講習会では、これらの事例を含めた教材を基に講義、演習等を実施することにより測量技術者の測量成果に対する品質意識の向上を図ってまいります。

平成30年度も地方開催を設定し、1日コースを3会場（東京・名古屋・札幌）にて開催をいたしました。

本稿では、3会場で実施された講習会についてその概要を報告いたします。

■平成30年度 測量成果（地図）品質向上講習会

主催

公益財団法人 日本測量調査技術協会 検定推進センター

開催日時・会場

東京会場 新平成30年6月28日（木） 9：30～17：00

新宿区立新宿NPO協働推進センター 501会議室

東京都新宿区高田馬場4丁目36番12号

名古屋会場 平成30年7月26日（木） 9：30～17：00

玉野総合コンサルタント株式会社 2Fセミナールーム

名古屋市東区東桜二丁目17番14号 新栄町ビル

札幌会場 平成30年8月29日（水） 9：30～17：00

かでる2・7北海道立道民活動センター 940研修室

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

参加人数

合計49名（東京会場13名 名古屋会場16名 札幌会場20名）

参加者概要

数値地形図データ作成、航空レーザ測量、写真測量、基準点測量等の実務経験を有する専門技術者

講義内容

- ・公共測量標準図式の理解及び目視点検の留意点について
- ・数値地形図データ作成の検査事例について
- ・事例紹介（航空レーザ作成及び写真地図）
- ・演習（1/2500都市計画図の誤り個所の指摘）
- ・上記測量成果の正しい表示法について解説

受講料

当協会の会員 ¥15,000（税込）

非会員 ¥25,000（税込）

講師

公益財団法人日本測量調査技術協会検定員

CPD

測量系CPD6ポイント

カリキュラム

日程	開始	終了	講習内容	講師	到達目標
1日コース	午前の部	9:30 ~ 9:40	本講習会の概要	首藤隆夫	
		9:40 ~ 10:30	公共測量標準図式(第1章~第5章)	首藤隆夫	図式(地図記号の定義)の理解
		10:30 ~ 11:50	公共測量標準図式	首藤隆夫	図式(地図記号の適用)の理解
		11:50 ~ 12:50	昼食(自由)		
	午後の部	12:50 ~ 13:50	事例紹介:航空レーザ測量及び写真地図	松尾永二・首藤隆夫	誤りの事例と正しい処理、根拠規定の理解
		13:50 ~ 14:00	休憩		
		14:00 ~ 14:20	目視点検の留意点(数値地形図データ作成)	松尾永二	目視点検項目の理解
		14:20 ~ 14:50	数値地形図データ作成(地図情報レベル2500)の目視による指摘項目と内容	松尾永二	指摘項目と内容の理解
		14:50 ~ 15:30	数値地形図データ作成(地図情報レベル2500)の検査事例紹介	松尾永二	誤りの事例と正しい処理、根拠規定の理解
		15:30 ~ 15:40	休憩		
		15:40 ~ 16:20	演習:数値地形図データ作成(数値地形図データ作成:地図情報レベル2500)	首藤隆夫・松尾永二	誤りの指摘抽出
		16:20 ~ 17:00	数値地形図(地図情報レベル2500)正誤図の解説	松尾永二	正しい処理法(表示法)についての理解



講義風景



演習風景

講習参加者：地域別・専門分野別・業務経験年別

■：東京 ■：名古屋 ■：札幌

